

御茶壺道中 その一

内藤 恭義

はじめに

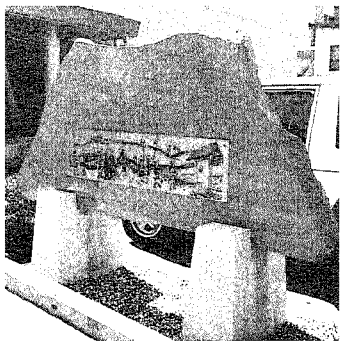
ふるさと会館前に、明治・大正から昭和初期を経験された方々には懐かしい童歌

ズイズズッコロバシ胡麻味噌ズイ 茶壺ニ追ワレテ戸ピン シャン

ではじまる歌碑があります。都留市が茶壺道中に縁の深い地であることから、ふるさと会館前を選んで建立したもので、大変喜ばしいことだと思えます。

市内に残る古い絵図の中には、日本中のどの絵図にも見られない、大変珍しい記録があります。『秋元三代絵図』と称される絵図の中に「御茶蔵」「御茶替蔵」という文字が見られるのです。

江戸時代前期、秋元公が谷村城に在って郡内を支配していた頃、お茶壺道中が谷村を訪れ、勝山城の茶蔵に茶壺を預け、保管したことを示す重要な史料です。



ズイズズッコロバシ歌碑

東海道、中山道、甲州街道のいたるところにあるのですが、茶壺を保管した所はどこにもなく、それこそ都留市固有の歴史なのです。

こんなわけで、これから一年間、市民の皆様が茶壺道中のことを共通理解していただきたいと願って歴史を中心にお話を書き進めてまいります。

茶の栽培は、江戸時代の初頭には、広く各地に普及していましたが、宇治の茶が最高の品質を誇って珍重されていました。

將軍自らの飲用だけでなく、高級品を必要とする様々な催物に使われる茶は、当然のことながら、最高品質であり、しかも、直轄地でもある宇治の新茶が求められました。

この宇治の新茶を求めするために、幕府は、採茶使を選任し、茶壺を携えさせた一行を宇治へと派遣し、茶詰めが終わると、再び江戸へと持ち帰らせたのでした。この役を「宇治採茶使」と言いますが、この採茶使の行列を、人々は「御茶壺道中」と呼んだのです。

甲州軍団出陣せまる

花の香りに春の訪れを感じる四月上旬、戦国の名将「武田信玄公」の遺徳を偲ぶ、県下最大のイベント「信玄公祭り甲州軍団出陣」が四月九日（土）甲府市内平和通りを中心に盛大に行われます。

都留市からは、都留市消防団宝分団の精鋭四十名の皆さんが、武田二十四将のうち智略抜群の勇将「少輔虎昌隊」として出陣します。

当日は、谷村第一小学校を午後十二時三十分に出発し、仲町大神宮にて出陣祈願を行った後、午後



一時三十分市役所前から甲府へ向け出発します。皆さんのご声援をよろしくお願いたします。

ふるさとの四月

8日	花まつり	市内諸寺	17日	子育て延命地蔵尊忌	豊川稲荷	宝鏡寺
11日	三島神社例祭	田野倉	18日	はたおりの地蔵	小野	曾雄
	四社祭	田町	20日	雛鶴神社例祭	西願寺	菅野
	御獄神社例祭	横町	22日	お太子講	菅野	菅野
12日	赤石春日神社例祭	与繩	23日	養蚕神社例祭	菅野	菅野
15日	大神社例祭	中津森	24日	かがめや地蔵尊例祭	法泉寺	法泉寺
	大神宮例祭	仲町	28日	愛宕神社例祭	法能	法能
	太宰府天神社例祭	境	29日	お不動さん	龍石寺	龍石寺
	稲村神社例祭	小形山		第四十回市制祭	市民総合体育館他	
	諏訪神社例祭	大原	5月5日	石船神社例祭	石船神社	
16日	機神社例祭	大幡		端午の節句	市内各地	
	半僧坊	長生寺				

仕事をお求めている女性のための

講座名	クッキングヘルパー
内容	午前 調理実習 午後 講義(栄養学・食品衛生・その他)
日程	5月6日～7月15日 毎週2日(木・金曜日) で合計21日間
講習時間	午前9時30分～午後3時
受講料	無料(ただし、実習材料費として10,000円程度)
定員	20人
講習場所	富士吉田市上暮地コミュニティセンター
お問い合わせ先	県立労働者福祉センター
電話	0555(24)0754